

SUGISEKI PRESENTS

みらい通信

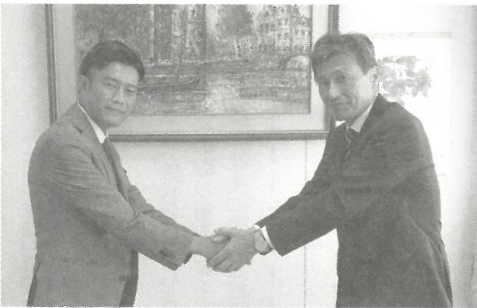
(株)スギセキは、建設会社の環境への取り組みを応援します。

Talk Room 001号室



インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

今回、お話を伺い確信したことがあります。それはSDGs・環境問題への取り組みは企業価値の向上のみならず、新卒採用にも有効だということです。事実、望月社長も就活生は環境への取り組みや雇用条件について、一歩踏み込んだ質問をされるとおっしゃっていました。未来を担う若者が環境に対して私たち以上に重要に捉えるのは至極当然のことであり、環境意識の高い静和工業様はこれからの建設業界における模範であると感じました。



日本の原点「始末」の意識化を

静和工業(株) 代表取締役社長 望月元一氏

愛宕 簡単な企業紹介をお願いします。
望月 1952年5月8日に創立し、今年70周年を迎えました。総合建設業ですが、主に土木工事業を手掛け、社員数は約80人です。
愛宕 SDGsや環境への取り組みをお聞かせください。
望月 SDGsと言えば安全衛生委員会を組織し、安全大会の実施や健康診断の受検改善など、健康経営を推進しています。また、インターンシップ受け入れ、講習会、研修会など資格取得の推進、週休2日制の導入なども行っています。地域貢献では、自社として、建設業協会会員として、さまざまな取り組みを定期的にも実施しています。

2010年からエコアクション21に取り組んでいまして、ハイブリッド車や環境配慮型重機への切り替えや、GTL燃料の導入も進めました。
愛宕 環境対策に取り組む社内体制について教えてください。
望月 環境部と安全課が中心となっています。現場での安全活動に取り組む安全衛生委員会をエコアクションの組織の一部とし、職長クラスが委員となって、各現場や下部組織の意識向上、取り組みの浸透に努めます。
愛宕 社員の環境教育の意識づけとして行っていることはありますか。
望月 SDGs、エコアクション21の監査には環境部や安全課の社員も参加させ、指摘箇所については各部署に水平展開して改善します。取り組みの指針となる環境計画を策定し、取り組みの実施時期や必要機器の購入時期も計画に沿って実行しています。
愛宕 若い世代に向けて環境対策に関するメッセージをお願いします。

望月 日本には昔から「始末」という言葉があります。限りある物をきっちり「始末」する。全て使いきる。そういった日本の原点の意識を伝えなければなりません。アスファルトなどは原油材料を使って作ります。現場での余剰材料の廃棄は、個々の量は少なくとも、日本全体では莫大の量になります。そして、廃棄処分という行為は二酸化炭素を余分に排出させていることに等しいのです。日本も豊かになり、「もったいない」という意識が希薄な時代が続きました。しかし、今の時代「始末」「もったいない」という精神を忘れてはなりません。私たちができることは、まずそんなことから持続可能な社会環境を築いていくのではないのでしょうか。



GTL燃料を採用した静和丸

Talk Room 002号室



インタビューアー
(株)スギセキ 永田浩章

会社へ訪問してまずは、女性の方々が丁寧にお出迎えをしてくださったことが素晴らしいです。従業員5分の1は女性社員ということで、女性の活躍する場を積極的に増やしていることがまさにダイバーシティ経営をされているのだと感じました。エコアクション21への取り組みにおいては、2007年に認証取得と先々を見据えて環境への取り組みに着手しているところに感銘を受けました。組織全体が同じ方向を向いて進んでいることがとても伝わってきました。



実践の中で「環境」を工夫

(株)ハイナン 代表取締役社長 畑 大介氏

永田 簡単に会社の紹介をお願いします。
畑 約70年前に祖父が創業し、父が株式会社としてからは43年。社員数は約60人で、総合解体と産業廃棄物処理・リサイクルを行っています。
永田 ゼロエミッションを掲げられています。
畑 私はことし1月に社長に就任しましたが、先代はSDGsが唱えられるずっと以前から、「そんな時代がくる」と、廃棄物ゼロを掲げ、「ここに持ち込めばすべてが再資源化される廃棄物のデズニードランドを造る」という壮大な夢と共に、リサイクルプラントを拡大してきました。
大型の分別機械で拾えないものは、手作業で分別、再資源化するのですが、まだリサイクルや分別解体というワードもなかった時代。先代の先見の明に頭が下がります。
ですから、SDGsは牧之原市には制度がないため、静岡営業所で静岡市のSDGs宣言企業に登録、エコアクション21も2007年



から取り組んでいるのですが、そういう理念はわが社では早くから実践してきたような部分もあります。
CO2削減とコスト面から、GTL燃料も採用していますが、今後も、アスベスト除去を自社で行える体制を整え、5カ年計画で最新の焼却炉の導入も進める方向です。
永田 環境対策に関する社員教育や社内体制について教えてください。
畑 環境対策に限ったことではないのですが、社員主導の組織を目指します。「やれ」と言われてではなく、「やらなきゃ」と自発的に動ける人材を育成します。
永田 女性社員が多い印象ですが。
畑 SDGsにもつながりますが、女性の雇用に力を入れてきました。業界的に現場の仕事でどうかという先入観があると思いますが、当社は5分の1が女性。現場でも女性が活躍してくれています。女性ならではの視点や心

遣いがプラスに動いています。
永田 若い世代へメッセージをお願いします。
畑 当社に入社を希望される若い方で、最近は環境問題に関心を持って来られる方が増えました。ただ、現場ではその思いと矛盾することもしばしば。環境に関する法規制、制度規制は厳しくなる一方ですが、現場としては無理難題だと感じることも多いのも事実です。頭でっかちに環境、環境と固執するのではなく、常に意識は持ち続け、実践の中で良い方向へと進めるための工夫と努力を求めたいと思います。



NETIS 登録技術
GTL燃料
燃焼時 **CO₂ 8.5%削減**
☎0120-217-517
株式会社 スギセキ

